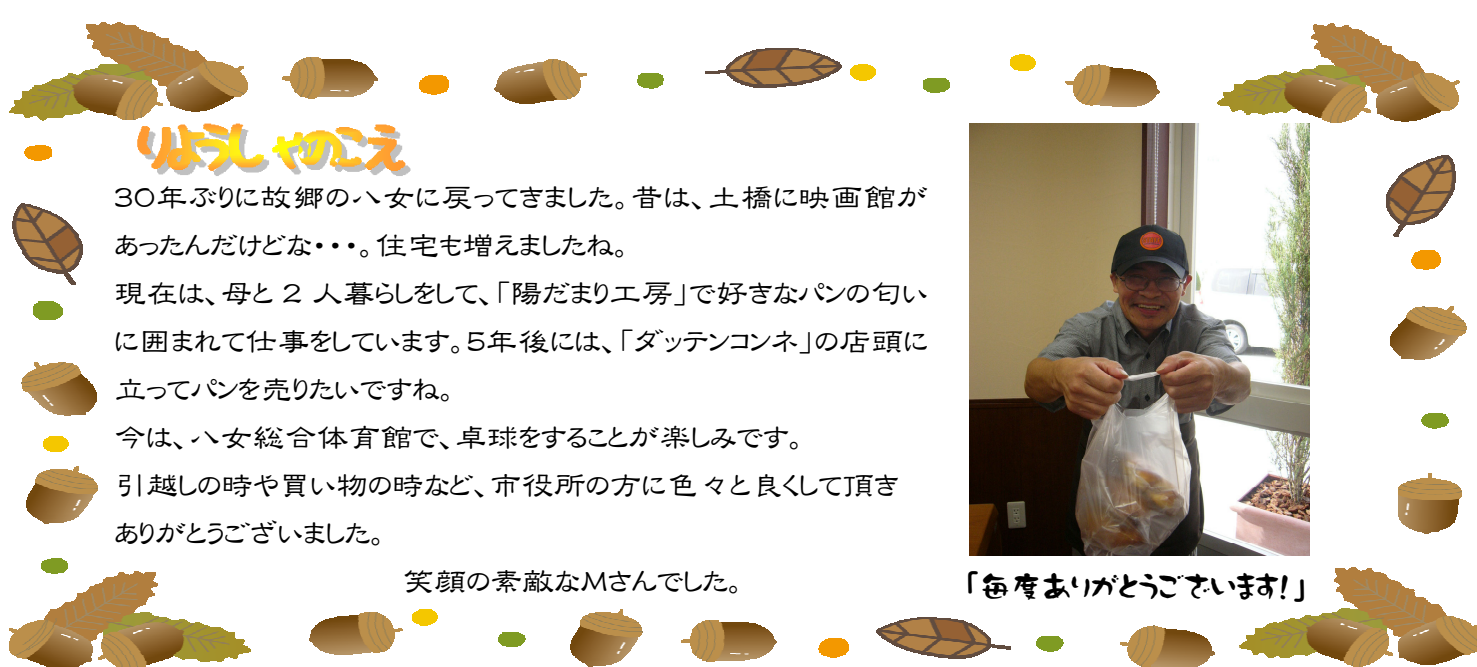




りーべルのこえ

30年ぶりに故郷のハ女に戻ってきました。昔は、土橋に映画館があったんだけどな・・・。住宅も増えましたね。

現在は、母と2人暮らしをして、「陽だまり工房」で好きなパンの匂いに囲まれて仕事をしています。5年後には、「ダッテンコンネ」の店頭に立ってパンを売りたいですね。

今は、ハ女総合体育館で、卓球をすることが楽しみです。

引越しの時や買い物の時など、市役所の方に色々とお世話になりました。

笑顔の素敵なMさんでした。



「毎度ありがとうございます!」

チャリティ福祉バザー

去る、10月24日(日)毎年恒例、八女ライオンズクラブ主催のチャリティー福祉バザーが行われました。あいにくの大雨で午前中みの開催でありましたが多くのお客さんが足を運んでいただき、雨の音に負けないくらいの賑わいと熱気でした。

～ライオンズ クリスマスパティーのご案内～

平成22年12月18日(土) 午前11時～：八女文化会館



八女地区家族交流会のご案内

精神障害者の家族が、お互い助け合い、学びあい、協力して、こころの病に対する正しい知識を身につけることを目的に交流会を開催しています。

家族の方々が、誰にも言えない・・・とひとりで悩まないで、同じ立場の人々と気楽に話せる機会となっています。気軽に参加してください。

開催日：12/28 1/25 2/23 2/23

3/23 14:00～

開催場所：八女作業所 2階交流スペース

お問い合わせ：八女作業所内の家族会事務局

0943-23-1747

南筑後保健福祉環境事務所

0944-72-2176

平成22年度 思春期精神保健講演会

精神科の先生からみた「思春期のこころ」について お話をきいてみませんか?

日時：平成22年12月10日(金)

14:00～16:00

場所：福岡県八女総合庁舎 大会議室

内容：「思春期のこころ

ひきこもり・不登校を考える

～ 漢方精神科治療の現場から ～

講師：久留米大学医学部 精神科医師

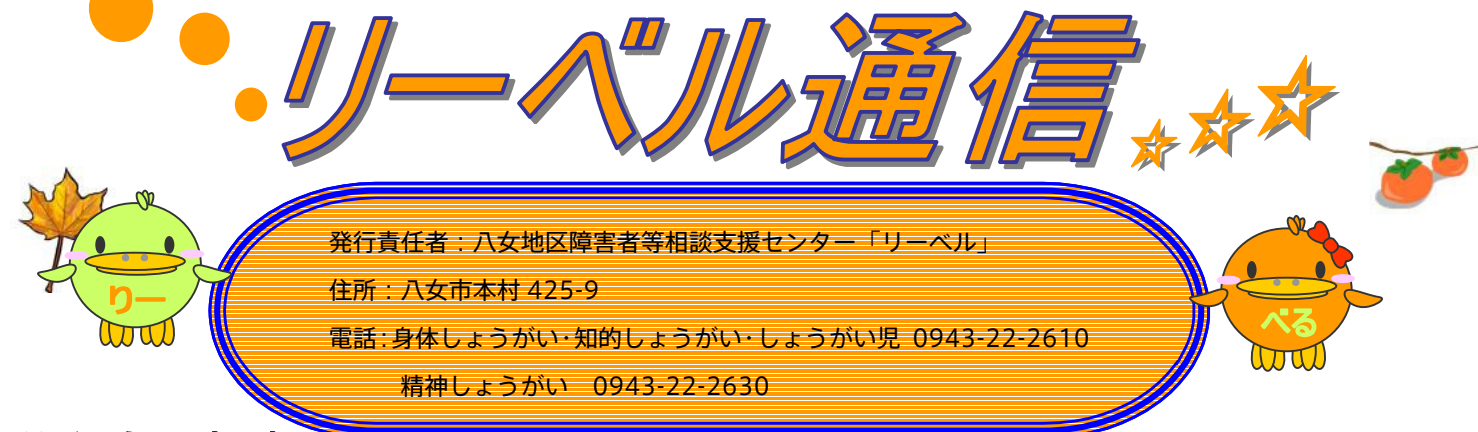
恵紙 英昭 先生

お問い合わせ：福岡県南筑後保健福祉環境事務所

0944-72-2176

第17号 八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

平成22年11月30日



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

住所：八女市本村 425-9

電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610

精神しょうがい 0943-22-2630

分科会 報告

※ 稼動し始めた、3つの分科会の内容を、シリーズでご報告させていただきます。今回は、生活支援分科会です。

～ 生活支援分科会 より ～

生活支援分科会とは？八女地区にある障害者福祉関連の事業所さんが、皆さんの生活全般について、お手伝いをさせて頂いていく中で、「あれ～？困ったな」「こんな時、他の所はどんな風にしているのかな?」「こういう勉強会があったらいいな!」など皆さんが集まって定期的にお話し合いをする場所としています。「参加した皆さんが、話しやすい雰囲気」をモットーに、グループワークを方法としてスタートし、3回目、4回目は事例を提供して頂きながら「自分たちだったらこういう方法を考えるかな・・・!」「こんな方法もあるよ!」とグループで話しあい、知恵を出しあいました。回を重ねるごとに、盛り上がってきています。その中で、話題となるテーマのひとつに、「親亡きあとの問題」です。将来をイメージしながら「今、できることは何?」「キーパーソンは誰になるの?」「経済基盤は?」など、次々に課題はあがってきています。これからも、身近に「困ったな～」と思った時に、皆さんと議論できる場にしたいと思います。

※ 5回目開催は、(12月3日に開催予定) 関心の高かった「成年後見人制度について」講師をお招きしながら、勉強会を行いたいと思います。



「そういえばこんな情報があるよ!」



「私だったらこんな風に考えるかな?」



「私達のグループの発表です。」

年末年始の開館のお知らせ

12月29日(水) 9:30～17:00

12月30日(木)～1月3日(月)

1月4日(火)～

身体・知的しょうがい

お休み

平常どおり開館

※ 精神担当はお休み



～へんしゅうこうき～

木枯らしが身にしみるこの頃、寒がりの私には、耐え難い日々です。(～;)そのような中、お日様の暖かい日差しや、焼いものホクホクした食感がありがたい・・・と思う瞬間です。今年、湯たんぽを仕入れて、暖まろうかな。分科会もそれぞれの取り組みが始まり、この紙面を通して、お伝えできれば・・・と思います。インフルエンザがまん延するこの時期、皆さんも体調に気をつけてお過ごし下さい。

福岡県発達障害者支援センター あおぞら

発達障害者支援センターは、発達障害者への支援を総合的に行うことを目的とした専門的機関です。

当センターは、平成19年5月1日より、福岡県から社会福祉法人 筑陽会が委託を受け、業務を行っています。

対象は、福岡県にお住まい(担当地域:筑後地区、筑紫地区、糸島地区)の発達障害のあるもしくは、疑いのある子どもから成人の方、そのご家族、関係機関等から相談をお受けしています。相談は無料です。

役割は大きくわけて4つあります。

(1)相談支援

発達障害者とその家族、関係機関等から日常生活でのさまざまな相談(コミュニケーションや行動面で気になること、保育園や学校、職場で困っていること)などに応じます。また、必要に応じて、福祉制度やその利用方法、関係機関への紹介も行います。

(2)発達支援

発達障害者とその家族、周囲の人の発達支援に関する相談に応じ、家庭での療育方法についてアドバイスします。また、知的発達や生活スキルに関する発達検査などを実施したり、発達障害者の特性に応じた支援の具体的な方法について助言を行います。その際、関係機関などと連携を図ります。

(3)就労支援

就労を希望する発達障害者に対して、就労に関する相談に応じるとともに、労働関係機関と連携して情報提供を行います。必要に応じて、センターのスタッフが学校や就労先を訪問し、障害特性や就業適性に関する助言を行うほか、作業工程や環境の調整などを行うこともあります。

(4)普及啓発・研修

発達障害をより多くの人に理解してもらうために地域住民向けの講演会を開催したり、発達障害の特性や対応方法などについて解説したわかりやすいパンフレット、チラシなどを作成し配布することもあります。また、普段から発達障害を支援する関係機関の職員や、行政職員などを対象に研修を行います。

診断や療育訓練(言語療法、作業療法など)については、当センターでは対応できません。そういったご相談をお受けした場合は、お住まいの近隣にある機関の情報提供をさせていただきます。

今後も、発達障害者とその家族が豊かな地域生活を送れるように、保健、医療、福祉、教育、労働などの関係機関と連携し、地域における総合的な支援ネットワークを構築しながら、さまざまな相談に応じ、指導と助言を行っていきたいと考えています。

「発達障害について知りたい」「かわり方がわからない」など困ったことや気になることがございましたら、ご相談ください。

連絡先 : 福岡県発達障害者支援センター あおぞら

〒834-0122

福岡県八女郡広川町一條1363-1

TEL : 0942-52-3455

FAX : 0942-53-0621

ホームページ : <http://www.aozora-center.com>



「風と虹 ティア」さんの見学です

～ 就労支援分科会 ～

就労支援分科会は、参加されている、各事業所を巡回して会場とし、その見学先から取り組みの紹介等を行いながら、事業所さんが抱えてある課題に対しての意見交換をしています。参加者は、「各事業所の取り組みが分って参考になる!」と好評です。

また、年明けには、県の就労支援ネットワーク強化事業で、八女筑後圏域では、デュナミスが実施する障害者の雇用促進の先進地視察にも代表者が参加させてもらう予定です。



「夢工房」さんの説明を聞きました

～ 教育分科会 ～

教育分科会は2ヶ月に1回の開催となっており、第3回目を10月29日に開催しました。各関係機関(福祉事業所、家庭児童相談室、特別支援教育コーディネーター、保健所等)から事例を通して、課題となることを出していただき、分科会で協議しました。支援する側の資質の向上のための研修の場の必要性、障害のある子どもの「きょうだい児」の課題、親同士の情報交換の場の必要性等が話し合われました。今回から、八女地区の保育所の代表の方にも入っていただき、就学前から学齢期、青年期までの関係機関が揃いました。今後も、必要に応じて、参加していただける方を検討していきたいと思います。



熱い議論がなされています



リーベルネットワーク会議

去る、9月25日(土)第13回リーベルネットワーク会議が開催されました。内容は、分科会の始動状況について報告しました。今回は、新たな試みで、八女市、広川町教育委員会の方々の参加もあり、福祉・教育の連携のあり方など、多くの、議論がなされました。この話し合いを通して、抱えている様々な問題を解決できる糸口を見つけていけたらと思います。



平成22年「び近所生活応援団(生活支援員)養成講座」 でお話しさせていただきました

いつもお世話になっている、社会福祉協議会の金銭管理(日常生活自立支援事業)利用に関して、地域ボランティアとして、生活支援員を養成されることを目的に、講師として、リーベルからは、牛嶋文子 相談支援専門員が「知的しょうがい者についての理解と支援」、長嶺 香 相談支援専門員が「精神しょうがい者についての理解と支援」をテーマに、それぞれがお話しさせていただきました。今後、ひとりでも多くの支援員の方々が地域でご活躍されることを期待します。

